

どうやってあそぼうかな？

作成日：令和5年9月22日

対象児：1歳児 ばら組

作成者：井川愛莉

ねらい ・遊びを通して、保育者や友達としぐさや簡単な言葉でやり取りを楽しむ。



●振り返り

暑い日は続いていますが、元気いっぱいなばら組の子ども達。6月に配信したキッズリー「つくりだすあそび」から3か月ほど経ちますが、空き箱や段ボール箱を使っての遊びのブームはまだ続いており、子ども達は空き箱に入ったり、押したりして遊ぶことを楽しんでいます。

室内遊びをしていた時に、箱の中に隠れようとする子と目が合ったので、保育者がその姿をみて「〇〇くんどこかな？」と言いながら探すふりをしました。すると近くにいた友達も真似をして、近くにあった机の下を覗いてみたり、その姿を見ていた他の子も一緒に探し始め、みんなでかくれんぼのような遊びは始まりました。(思考力の芽生え・協同性)箱の中に隠れていた子は待ちきれず「ばあ」と箱から出てきたのですが、探していた子ども達は大盛り上がりで、その後もしばらく遊びは続きました。(言葉による伝え合い)次の日には箱を横向きにして、家に見たてて友達の名前を呼び「おいで」「ぎゅうぎゅうだね」と簡単な言葉でやり取りを楽しんだりする姿が見られました。

好きな物を使って遊ぶ姿に変わりませんが、保育者とのかかわりから友達とのかかわりが増えていったり、大きな段ボール箱をベットや家などに見立てたりして、ごっこ遊びに発展させていく姿が見られています。友達とのかかわりの中で、言葉やしぐさでのやりとりで十分伝わらず、玩具が取り合いになってしまうこともあります。怪我や危険がないように見守りながら、子ども達に対して「貸して」「ありがとう」のやり取りだけができるように関わるのではなく、今この子はどう感じているのかな？と常に考え、子どもの気持ちに寄り添い、子どもの気持ちを尊重できるようなかかわりをしていきたいです。